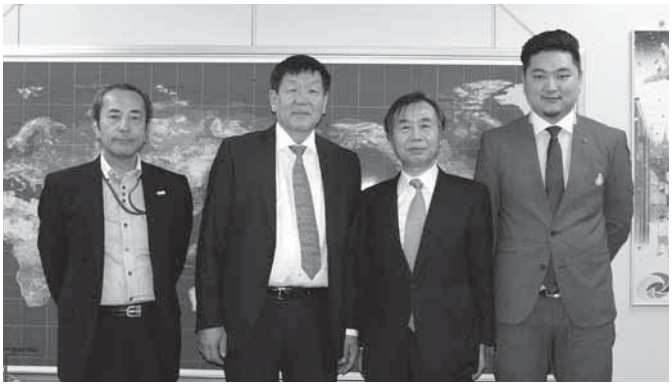
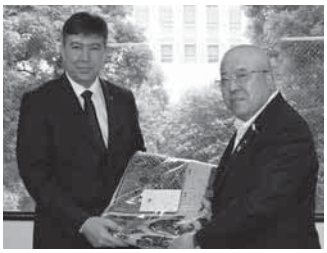


ゴンガ・ジャルガルサイハン MIATモンゴル航空社長（中央左）

左より、ベティ・グレイス・アケチ・オクロ駐日ウガンダ共和国大使、ベンソン H.O. オグトゥ駐日ケニア共和国大使、チャールズ・ムリガンデ駐日ルワンダ共和国大使

要人往来

要人の方々の関心も、「ツーリズムEXPOジャパン」に集中。帰国されてからもアウト・インともに元気な日本市場を大いに宣伝してもらえればと思います。



ドゥルディムラドフ・ケリム トルクメニスタン国家観光委員会委員長（左）と田川博己会長

マスード・ビン・モメン駐日バングラデシュ大使（左）

リアン・コディントン クイーンズランド州政府観光局CEO（左）

ノール・アズラン マレーシア政府観光局日本支局長（左）と田川博己会長

9月中旬にファムツアーも予定

モンゴル 7月23日（水）

ゴンガ・ジャルガルサイハン MIATモンゴル航空社長

中村理事長を訪問し、「モンゴル／日本間の輸送力強化に取り組んでおり、成田路線を週5便から6便に増便したのに続き、8月～10月には羽田から週2便を運航します。モンゴル旅行業協会と共同で9月中旬にファムツアーも予定しています」と説明。中村理事長は、「旅行会社にモンゴルの魅力を伝え、ツーリズムEXPOジャパンでも十分アピールしてください」と応じました。

東アフリカ3カ国で有効なビザ発行

ケニア・ルワンダ・ウガンダ 7月25日（金）

ベンソンH.O.オグトゥ 駐日ケニア大使

チャールズ・ムリガンデ 駐日ルワンダ大使

ベティ・グレイス・アケチ・オクロ 駐日ウガンダ大使

JATAを訪問し、「今年から3カ国で有効な東アフリカ観光ビザが発行されており、ひとつのビザでの周遊旅行が可能になりました」と説明。中村理事長は、「日本からのアフリカ旅行はパッケージツアーが多く、旅行会社向けのプロモーションや周知活動が必要。ツーリズムEXPOジャパンでのセミナーなどを活用してください」と応じました。

政府主導により南部でリゾート開発

バングラデシュ 7月30日（水）

マスード・ビン・モメン 駐日バングラデシュ大使

JATA本部を訪れ、「政府主導により初の取り組みとなる南部のリゾート開発に向けて動いており、開発のための情報支援やミーティングの機会をいただきたい」と要請。中村理事長は、「ツーリズムEXPOジャパンを通じてバングラデシュの魅力を伝え、ビジネスミーティングで積極的な商談を行ってください。リゾート開発に向けて、JATAとしても協力・サポートしていきます」と話しました。

5000年の歴史が育んだ魅力

トルクメニスタン 7月24日（木）

ドゥルディムラドフ・ケリム トルクメニスタン国家観光委員会委員長

田川会長を訪れ、「5000年もの長い歴史を持つ国で、世界遺産に登録されている3つの観光地をはじめとする素晴らしさは、来ていただかなければ分からない魅力です」とアピール。田川会長は、「文化遺産に興味を持つ旅行者は多く、観光・ビザ情報などに加えて、認知度をあげるための継続的なプロモーション活動が必要です」と指摘しています。

航空路線の再開に向けて動き

オーストラリア 7月31日（木）

リアン・コディントン クイーンズランド州政府観光局CEO

JATA本部を訪問し、「一時は年間50万人を数えた日本人観光客が伸び悩んでおり、日本の旅行会社との話し合いで、航空路線の再開に向けて動いています」と説明。中村理事長は、「直行便の就航は観光客増加のため非常に重要で、JATAとしてもブリスベンへの路線再開をサポートしていきます」と約束しました。

JATA会員への送客要請に謝意

マレーシア 8月7日（木）

ノール・アズラン マレーシア政府観光局日本支局長

田川会長を表敬訪問し、JATA会員にマレーシアへの送客を要請する支援メッセージに謝意を示すとともに、ツーリズムEXPOジャパンへの協力を約束。田川会長は、「学生企画コンテストやディスプレイ・ブッキングコンテストなどの『マレーシア100万人プロジェクト』を通じた渡航者増という実績で貢献したい」と話しました。